

特別活動 「手話合唱の講習」

相模原市立弥栄中学校



単元（題材）目標

○文化祭合唱発表会での学級曲「空は今」の一部に手話を取り入れることで手話について学び合い、聴覚障害者にも理解してもらえる合唱を表現する。

（1）実施時期

令和2年9月23日（水）

（2）対象（学年等・人数）

第2学年4組：37名、

特別支援学級交流生徒：1名、担任：1名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：担任1名

手話講師：相模原市聴覚障害者協会の方1名、相模原市手話通訳者の会の方1名、
中央ボランティアセンター職員1名（社会福祉協議会 職員）名



（4）実施内容

- ① 講習日は、パートの代表者が手話講師から歌詞の表現方法の講習を受ける。
- ② 翌日以降、講習を受けた生徒が中心となってクラス全体に伝達する。
- ③ 発表会当日まで、クラス・各パートによる、手話を含めた合唱練習を重ねる。

（5）成果

- ①練習を重ねるうちに、パート（三部合唱）ごとの手話でのハーモニー表現の難しさや歌い出すタイミングが異なるために「手話がバラバラに見えてしまうのではないか。」という意見が出され、生徒間で意見を出し合い、合唱の冒頭部を無伴奏にし、手話と斉唱だけで歌うというオリジナルのアレンジを加えた。結果として、素晴らしい手話合唱を披露することができた。
- ②コロナ禍での練習・発表のため、声量だけでなく、歌声に合わせた一致した手話を取り入れ、歌詞を大切にし、手話の持つコミュニケーション力をクラス全体で考えることができた。
- ③短時間での練習であったが、「手話合唱」への興味を持ち、わかりやすい手話で表現しようとする生徒の気持ちを育てることができた。

（6）その他

○相模原市民会館を貸し切った本校のみの文化祭舞台部門（合唱祭）で、コロナ感染予防の為に、保護者・一般の来場視聴が叶わなかったが、全校生徒、職員に発信することができた。